

九重町から愛のアクション

# 献血をしてみませんか？

—献血は命をつなぐボランティア—

新型コロナウイルス感染症の影響により、大分県内でも献血者の確保が困難な状況が続いています。

そのため、安定的に血液を確保していくためにも、皆様のご協力が必要とされています。

命をつなぐボランティア「献血」について知って、行動してみませんか？



## なぜ献血が必要？

血液は人間の生命を維持するために必要なものです。

輸血に使用する血液は、科学が進歩した現代でも人工的に造ることができません。また、長期保存することもできません。

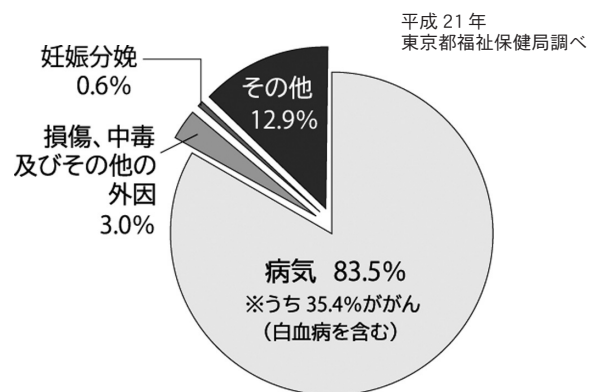
なお、献血という「事故」や「手術」といったイメージがあるかと思いますが、集められた血液の80%以上はがん等の病気と闘う方のために使われており、患者さんを救うために安定的に血液を届ける必要があります。

## 九重町の取り組み

九重町では九重ライオンズクラブのご協力をいただき、3ヶ月に1回、九重町役場で献血が行われています。この取組は約30年続けられており、およそ7,200人以上の町民の皆様にご協力をいただいてきました。

[1回の献血で60人のご協力×年4回×30年とした場合]

## 輸血の使用状況 (不詳を除く)



いつもご協力いただき、ありがとうございます！

### 3月の九重町での献血

- と き：3月26日(金)  
午前10時～午後4時
- ところ：九重町役場ロビー
- 注意点：新型コロナウイルス感染拡大防止のためお待ちいただく場合があります。時間に余裕をもってお越しください。



## 400mL献血、成分献血への協力を

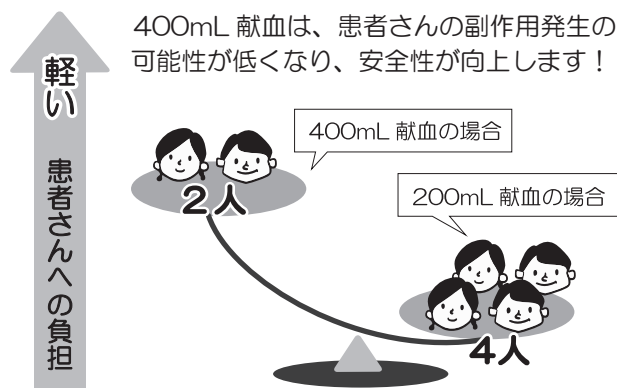
輸血を受ける患者さんへの安全性をより向上させるために、献血基準を満たした方には400mL献血のご協力をお願いしています。

一人ひとりの血液は、たとえA B OとR hの血液型が同じでも、微妙に違ってきます。

このため、一人の患者さんに使われる輸血用血液製剤が、より少ない人数の血液によってまかなわれていけばいるほど、輸血後の副作用（発熱、発疹など）発生の可能性が低くなり、安全性が向上します。

**注意** 九重町役場（献血バス）では400mL献血のみ受付します

## （例）800mLの輸血に必要な献血者数



400mL 献血は、患者さんの副作用発生の可能性が低くなり、安全性が向上します！

## 若い世代の協力を

献血は、400mL献血では男性が17～69歳（※）、女性が18～69歳（※）しか行うことができません。

現在、献血いただいている方の約70％は50歳未満の方々と、この世代の方々が輸血医療を大きく支えています。しかし、10～30代の献血者数は減少傾向にあり、少子高齢化が今後ますます進んでいくと、将来の安定供給に支障をきたす恐れがあるといわれています。そのため、若い世代の献血への協力が必要とされています。

（※65歳から69歳までの方については、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られています。また成分献血については年齢要件等が別に定められています）

## 400mL 献血の基準の一部

|      | 男 性                    | 女 性          |
|------|------------------------|--------------|
| 年 齢  | 17～69 歳（※）             | 18～69 歳（※）   |
| 体 重  | 50 kg以上                |              |
| 最高血圧 | 90mmHg 以上 180mmHg 未満   |              |
| 最低血圧 | 50mmHg 以上 110mmHg 未満   |              |
| 脈 拍  | 40 回 / 分以上 100 回 / 分以下 |              |
| 体 温  | 37.5℃未満                |              |
| 血色素量 | 13.0g/dl 以上            | 12.5 g/dl 以上 |

健康な方であれば、献血による身体への影響はほとんどありません。しかし、体調を崩していたり健康状態の良くない時に献血をすると、健康を損ねる場合もあります。

そのため、献血者の健康を守り、また輸血を受けられる方の安全性を高めるために、さまざまな基準が設けられています。

左表に記載している以外にも献血基準等がありますので、詳しくは日本赤十字社ホームページをご確認ください。



◀ 日本赤十字社HP  
「献血基準」について



私たちも献血しています！ ー九重町で定期的に献血されている方をご紹介しますー



たけい いちろう  
松井猛一郎さん

40歳頃から献血を始めて、今、15回しています。勤務先の八鹿酒造に献血バスが来ていただけるので、せっかくの機会なので始めたのがきっかけです。献血は簡単にできる社会貢献だと思っています。



まさひと  
日野雅仁さん

献血は今30回しています。献血は定期的に自分の健康状態を確認できるのが、献血のきっかけだったと思います。職場（玖珠郡森林組合）からも近いので九重町役場で行われる献血にいつも行っています。

## どこで献血できるの？ - 献血の流れ -

献血は常設の施設(献血ルーム)と献血バスで受付が行われています。大分県内では、常設の施設として、献血ルーム・わたんで年間を通して献血していただくことができます。



### 献血ルーム・わたん

住 所：トキハわさだタウン（大分市）

電話番号：097-574-6822

受付時間：

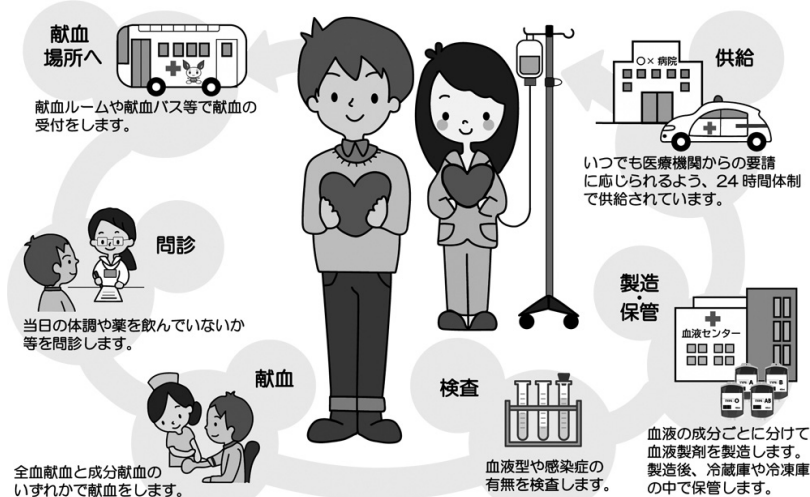
【成分献血】 9：30～11：30

14：00～16：00

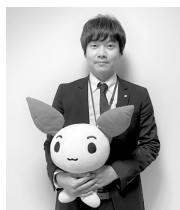
【400・200mL】 9：30～12：50

14：00～17：30

定 休 日：年中無休（12月31日・1月1日を除く）



## 大分県赤十字血液センターからメッセージ



大分県赤十字血液センター  
献血推進課 推進二係長  
菅 亮平さん

大分県赤十字血液センター 献血推進課の菅と申します。

献血は、自分の血液を無償で提供するとともに尊い行為です。献血には多少の痛みも伴いますし、時間もかかります。それでも、毎日県内各地の皆様が献血バスや献血ルームに来てくださいます。私は、そんな方々の善意に触れ、とても素敵な仕事に携わらせて頂いているな、といつも感じています。

しかし、献血には問題もあります。

若年層の献血離れに加え、昨年からのコロナ禍により、学校、企業等での献血バスの受け入れや、イベントの中止が相次ぎ、献血者の確保が困難になっています。

一方、血液の使用量は大きく変わらず、献血者数を維持しなければなりません。

そこで当センターでは、手指消毒やマスクの着用、車内換気などの感染対策はもちろんのこと、献血の予約を推進し、密集回避に努めています。更に、過去の献血協力者の方々に一件一件電話でお願いをし、コロナ禍以前と同等の献血者数を確保しています。

とはいえ、未だコロナ禍終息の見通しは立っておらず、厳しい状況が続きます。

職場や学校に献血バスが来たら、街で献血バスを見かけたら、わさだタウンに行くことがあったら、是非、献血にご協力をお願いいたします。職員一同、お待ちしております。



ラブラッド  
便利です！



- 従来より感染症対策が行われていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策が行われています。
- 献血会場での密を避けるため、なるべく事前予約をお願いします。  
→インターネットから献血ルームの予約だけでなく、献血バスも予約することができる「ラブラッド」が便利です。  
「ラブラッド」はお手持ちの献血カードがあればすぐに新規登録することができ、登録すると献血記録の確認や、ポイントをためることもできます。

大分県赤十字血液センター  
ラブラッド  
Love Blood

